

# もったいない通院を



そのかかり方が  
医療費のムダに  
つながっている!?

皆さまが医療機関の窓口で負担する医療費は、原則3割です（小学校入学前のお子さまは2割）。例えば、皆さまの負担が3,000円だと、健保組合は7,000円を支払います。しかし、健保組合が支払う7,000円も、もとはといえば、

皆さまに納めていただいた保険料です。

「自分で納めた保険料だからいいじゃないか」  
—こんな方が増えると、ただでさえ納付金の増加によって厳しさを増している健保組合の財政は、パンクしてしまいます。1人でも多くの方に“もったいない通院”をやめていただきたいのです。

緊急じゃないのに夜間や休日に受診すると、もったいない

夜間や休日に医療機関を受診すると、割増料金（時間外加算、休日加算、深夜加算）がかかります。もとも割増料金のかかる深夜加算と平日・日中の初診料で比較すると、費用は5倍超にもなります。

もちろん、緊急を要する症状の場合にはやむを得ませんが、「空いているから」などの自分本位の理由でこれらの時間にかかることは避けましょう。

ジェネリックを選ばないと、もったいない

ジェネリック医薬品は、平均すると新薬の約半額といわれています。この金額の差から、「効果や安全性が劣るのでは」と誤解される方もいますが、ジェネリック医薬品の効果と安全性は厚生労働省から認められています。医師が切り替えを許可しない場合を除き、患者の意思で切

はしご受診は、もったいない

「あの医師とは合わない」「もっとよい治療法があるはず」と、同じ病気で医療機関をはしごしていませんか？ はしご受診は、かかればかかるほど医療費や薬剤費が2倍、3倍、4倍…とかさむだけでなく、同じ検査が繰り返し返されるため、体にも負担がかかります。何でも相談できるかかりつけ医の不在が、はしご受診

## STUDY

- ・診療に割増料金がかからないのは平日8時～18時 土曜日8時～12時
- ・薬局も割増料金がかかる
- ・小学校入学前のお子さまの医療費は、自治体の助成などで「タダ」と誤解しがちだが、健保組合の負担は残る

## STUDY

- ・ジェネリック医薬品は平均すると新薬の約半額

り替えることができますので、ご検討ください。

## STUDY

- ・はしご受診は医師とのコミュニケーション不足が一因。何でも相談できるかかりつけ医がいればムダがない

につながります。まずは、医師とのコミュニケーションを優先にしましょう。